

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索



鋭匙2019年

*鋭匙(エ化)とは
病巣の搔破や組織の除去に使用する医療器具

7年間に社会保障費を4.3兆円も削減した安倍内閣は、戦争する国づくりに邁進しています。2019年度は、地上配備型ミサイル迎撃システム(イージスアショア)2基、無人偵察機、早期警戒機E2D9機、最新鋭ステルス戦闘機F35A6機、などを購入し、F15戦闘機には、長距離ミサイルや対地ミサイルを装備可能にします。兵器調達費は2018年度の1.7倍になります。巡洋艦の「いずも」と「かが」は、かねてからの計画により、保有を否定されてきた航空母艦に改造されます。

辺野古では、新型軍事基地の建設を強行しています。日本は太平洋戦争で、国益(産業界の利益)のために、自他国民の膨大な「基本的人権といのち」を犠牲にしたことを反省してきました。敗戦後の日本国憲法は、戦争放棄を謳い、『わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのな

いようにすることを決意し、主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定』しました。『日本国民は恒久の平和を念願し、(略)平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した』のであって、戦争のない平和を求めなければなりません。

殺戮と破壊が支配する戦争は、究極の人権侵害と自然破壊であり人間性に反します。ナチスによる民族浄化、ハンセン病者の隔離、心身障害者の断種手術、などによる基本的人権の侵害も解りやすい例でしょう。

しかし、社会保障と福祉、労働、税制などは、身近な問題でありながら利害衝突があるために、誤った政治による人権侵害が横行しています。これらを一つ一つ解きほぐしてゆこうではありませんか。



2019年 元旦
東京社会保険推進協議会
会長 須田 昭夫

高齢者厚労省前座り込み行動



12月12日から14日の日程で、日本高齢期運動連絡会と東京都老後保障推進協会主催の「後期高齢者医療窓口負担2割化反対・高齢者のいのちを守る高齢者予算要求」厚労省前座り込み行動が行われ、3日間でのべ100人が参加しました。

あいさつに立った城田尚彦都老協会長は、「命や福祉に冷たい安倍政権を退陣させ、社会保障が機能する政治に変えたい」と訴えました。参加者は次々とマイクを握り、75歳以上の窓口2割負担増や、消費税の10%増税、年金削減などの負担を押し付ける安倍政権への怒りの声をあげました。

各地域・団体の取り組み

渋谷社保協



渋谷社保協は、10月23日に「なんでも相談会」を開催し7団体9人が参加しました。

寄せられた相談は3件と少なかったですが、以前の相談会で「収入基準を超えたため、生保支給打ち切りとなり、過去にさかのぼって支給分の返金を求められていた相談者から、相談会でのアドバイスを受け福祉事務所と交渉し、返金無しとなった。」とのお礼の電話がありました。

相談件数は少なくとも、継続的に取り組む意義を改めて確認しました。

区議会請願を実施

渋谷社保協として、「国に対して75歳以上の医療費窓口負担を2割に引き上げるな」という意見書の提出を求める請願を57団体で提出しました。

請願は、10月22日の本会議で、共産6人、立憲民主2人と無所属2人の区議が賛成しましたが、自民、公明、民進、笑顔が反対し不採択となりました。

次回区議会には、国保料値下げの請願を行う予定です。

(社保協ニュースより)

小平社保協

小平社保協は、11月5日に小平市長と教育長に「国保、介護、健康、教育、暮らし等の社会保障に関する質問と要望書」を提出し、12月4日

と12月11日の2回にわたって質問事項への回答と要望事項の説明と懇談会を行い、のべ24人が参加しました。

懇談では、①国保税の改定については、2018年度に引き上げを行っているので、2019年度は改定しない。②国保会計への一般会計からの繰入れについては、2019年度も今年度と同様に1人当たり40,200円を繰り入れることを予定している。都が6年間で解消と言っているが、6年間で解消は国保税の急激な引き上げを招き6年間で解消は困難と回答しました。③国保税滞納者への都からの差押え件数交付金については、平成34年に交付金を廃止・見直しし、収納率を基準に交付予定と回答しました。なお、小平市は資格証は発行しておらず、短期証を580件(H30年10月現在)発行しています。④後期高齢者の保険料滞納については、H30年10月現在で189人が滞納しており、その内109人が普通徴収となっており、深刻な状況が明らかになりました。⑤また、介護保険の2割負担者が認定者の16%(1,300人)、3割負担者7%(626人)と報告されました。

(小平社保協ニュースより)

日野社保協

日野市は12月18日、2019年4月から国保税を1人当たり平均年5千円引き上げる条例案を、自民、公明などの賛成多数で可決しました。

日野社保協も参加する「国保を良くする日野市民の会」は、国保税の値上げ中止を求める請願を2,818人の署名とともに提出しましたが、値上げ中止を求める市民の声に背を向ける結果となりました。条例案の討論でも、「会」が実施した「国保アンケート」で「食費を削って国保税を支払っている」などの高負担に苦しむ市民の実態に対して、値上げ賛成議員もこの実態を否定できず、「市民の生活実態を紹介していただいて感謝する」との声や、「均等割は多子世帯に負担が大きい、見直しが必要だ」との意見も出されました。

(市民の会ニュースより)

都議会開会日行動



都議会第4回定例会開会日の12月4日、都民連・東京地評・東京社保協主催で開会日行動が行われ、都庁前に約200人が参加しました。

主催者あいさつを東京地評荻原淳議長が行い、日本共産党の尾崎あや子都議が連帯あいさつを行いました。引き続き、中小企業振興条例、都立病院の独立法人化問題、築地市場の豊洲移転と築地市場解体問題について、たたかう決意表明が行われました。

知事室要請を実施

開会日行動の前段で、東京社保協として知事室要請を行いました。



この行動には、障都連、年金者組合都本部、都立病院の充実を求める連絡会から参加しました。

第32回日本高齢者大会



第32回日本高齢者大会が、11月25日・26日の2日間にわたって開催され、全国からのべ3500人が熱海に集まりました。

藤末衛中央実行委員長（全日本民医連会長）が開会あいさつを行い、浜矩子さん（同志社大学教授）が、揺れ動く世界経済と日本の行く末と題して記念講演を行いました。2日目は28の学習講座・分科会が行われ、次回は、福島県磐梯熱海で開催されることになりました。



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
- *ホームページからも注文できます



巣鴨駅前「4の日」宣伝行動



12月14日、東京社保協・中央社保協が共催する今年最後の「4の日」宣伝行動を、巣鴨駅前で12時～13時までの1時間行いました。

この行動には、全体で40人、東京社保協26人（東京土建17人）、中央社保協14人が参加して署名・宣伝行動を行いました。

この日は、消費税廃止東京各界連の消費税10%増税阻止の宣伝・署名行動（11時半～）に引き続き行われました。

この行動で、署名ハガキ付きティッシュを約2500個を配布し、署名が24筆（25条16筆、国保8筆）集まり、介護・年金相談も行いました。行動参加、大変ご苦労さまでした。



「4の日」定例宣伝行動

- ・1月14日（祝）11時～13時
巣鴨地蔵通り商店街入口
- ・2月14日（木）12時～13時
巣鴨駅

主催：東京社保協・中央社保協

いのちとくらしを守る税研集会

日時 1月12日（土）13時半～
1月13日（日）13時半まで

会場 けんせつプラザ東京

講演 ①
「消費税と社会保障」
伊藤周平 鹿児島大学教授

講演 ②
「税制改正大綱と2019年予算案」
岡田俊明 税理士

・13日は分科会で学習と交流

主催：集会実行委員会

介護保険制度交流集会

日時 3月3日（日）13時～17時

会場 ラパスホール
（東京労働会館7階）

主催：介護をよくする東京の会

第49回東京社保協総会

日時 3月24日（日）10時～17時

会場 けんせつプラザ東京

主催：東京社保協